



Yokohama Arts Foundation

## 記 者 発 表 資 料

令和元年9月10日  
(公財)横浜市芸術文化振興財団  
横浜市民ギャラリーあざみ野

# 現在進行形のアートを紹介するシリーズ展 10回目の開催 あざみ野コンテンポラリーvol. 10 しかくのなかのリアリティ

絵画という虚構のなかのリアリティとは  
—5人の気鋭画家による約100点の作品を紹介

美術という枠や社会的評価にとらわれず、様々なジャンルのアーティストが行う表現活動に目を向けたシリーズ展「あざみ野コンテンポラリー」。10回目の開催となる今回は、「絵画とリアリティ」をテーマに、絵画を表現手段としている5人のアーティストの作品を展示します。

作品の外側にある「現実」をスタート地点に、絵画の内と外の関係を保ちながら制作に向き合う出品アーティストたち。彼らの個々の実践から、現在の絵画を捉え、描かれた虚構の世界のなかのリアリティについて探ります。

キャンバスという四角いフィールドに表現された個々のリアリティは、どのように積み重なり、わたしたち鑑賞者や現実の世界と接続しているのでしょうか。大型絵画やドローイングを中心に、約30点の新作を含む100点の絵画から読み解いてみたいと思います。



加茂昂／風景と肖像のあいだ1

2017年／油彩、キャンバス／45.5×38.0cm／個人蔵／photo: Kato Ken

## 開催概要

【展覧会名】あざみ野コンテンポラリーvol. 10 しかくのなかのリアリティ

【会期】令和元年10月12日(土)～11月4日(月・休) 10:00～18:00 ※10月28日(月)休館日

【会場】横浜市民ギャラリーあざみ野 展示室1・2

【出品作家】加茂昂、松本奈央子、水野里奈、山岡敏明、横野明日香

【料金】入場無料

【主催】横浜市民ギャラリーあざみ野 (公益財団法人横浜市芸術文化振興財団)

【助成】芸術文化振興基金、公益財団法人花王 芸術・科学財団

【協力】キリンビール株式会社

会期中は、アーティストトーク他関連イベントを開催します。詳細は添付チラシ、またはホームページ (<http://artazamino.jp/event/azamino-contemporary-2019/>) をご覧ください。

※ぜひ当事業の取材、情報掲載をお願い申しあげます。

取材の際は、事前にご一報ください。広報用画像の提供が可能です。

お問い合わせ先 \*本日は17:30まで在席しております。

横浜市民ギャラリーあざみ野 【公益財団法人 横浜市芸術文化振興財団】

館長 森井健太郎 担当 佐藤直子、日比谷安希子 TEL: 045-910-5656

2019年10月12日[土] – 11月4日[月・休]

休館日 10月28日[月]

Period: October 12 [Sat] – November 4 [Mon], 2019

Closed: October 28 [Mon]

横浜市民ギャラリーあざみ野 展示室1・2

Venue: Yokohama Civic Art Gallery Azamino

加茂 昇  
Kamo Akira

水野 球奈  
Mizuno Rina

横野 明江  
Yokono Asuka

松本 奈央子  
Matsumoto Naoko

山岡 敏明  
Yamaoka Toshiaki

# しかくの なかの リアリティ

あざみ野アートプロジェクト vol.10  
Azamino Contemporary vol.10

## REALITY IN A SQUARE

開場時間:10:00–18:00 入場無料

主催 | 横浜市民ギャラリーあざみ野[公益財団法人横浜市芸術文化振興財団]

助成 | 公益財団法人 花王芸術・科学財団 協力 | キリンビール株式会社



Opening Hours: 10:00-18:00 Admission Free

Organized by: Yokohama Civic Art Gallery Azamino [Yokohama Arts Foundation]

Supported by: Japan Arts Fund, The Kao Foundation for Arts and Sciences

In Cooperation with: Kirin Brewery Company, Ltd.

beyond  
2020

本展は、美術という枠や社会的評価にとらわれず、様々なジャンルのアーティストが行っている表現活動に目を向けたシリーズ展「あざみ野コンテンポラリー」の第10回として開催します。今回は、絵画表現のアクリュアリティをテーマに、絵画を表現手段としている5人のアーティストによるグループ展を開催します。

本展では、絵画の外の世界にある「現実」をスタート地点として、制作に向き合うアーティストたる個々の行為としての現在の絵画を探求する機会をしたいと思います。出品アーティストたちは、日々更新される現実から絵画が飛離することがないよう警戒し、絵画の内と外の緊張関係ともいえる距離感を保ちつつ表現活動を続けています。一方で、今日メディアやネット上に流通する数多くのイメージに囲まれているわたしたちは、アーティストの手によって画面に残された痕跡から、どれほどのアリティを実感することができるのでしょうか。そもそも二次元の平面に描かれた絵画には、連作法や明暗法といった絵画の技術によって、わたしたちが見ている視覚的な現実とは必ずしも一致しない、虚構の世界をくりだしてきた歴史があります。

この展覧会では、絵画とアリティ——描く行為、物質性、表現された現実、すなわちフィクションナルなアリティをめぐる5人のアーティストたちの実践について、絵画の支持体として用いられることが多いキャンバスを「四角」になぞらえ、四角いフィールドに表現された個々のアリティが如何に複雑に絡り合って、絵画の外の世界や観者と接続しているのか／接続しようとしているのか、媒体としてのアクリュアリティを問いかながら、読み解いてみたいと思います。



Kamo Akira 加茂昂

## しかくのなかのリアリティ REALITY IN A SQUARE

加茂 1982年東京生まれ。2010年東京藝術大学大学院美術研究科油画専攻修了。3.11後、「塩田」と生き残る「生き残る」を阿蘇に捉え、心象と裏表を織り交ぜながら「私」と「社会」が対話的に立ち現わるような絵画作品を制作する。主な個展に「世界線を吹き抜ける風」(LOKO GALLERY／東京、2019)、「身体の光景」(塩田の岡木美術館／塩田、2018)、その光景の肖像(「つなぎ美術館」／熊本、2017)など。主なグループ展に「星を想像するように—過去・現在・未来」(東京都美術館／東京、2019)など。

Kamo Akira [Lives and Works in Saitama]

Born in Tokyo in 1982. Kamo Akira completed Graduate School of Fine Arts, Tokyo University of the Arts, majoring in Painting in 2010. After the 3.11 earthquake, he focused on the landscape of Asuka, which was hit by the tsunami. By connecting together imaginations and actual events, he creates paintings that visualize "I" and "society" in relation to each other. Selected solo exhibitions include: "Wind Blowing Through the World Line" (LOKO GALLERY, Tokyo, 2019); "The Body's Image" (Maruki Art Gallery for the Hiroshima Panels, Kumamoto, 2018) and "Portrait of the Scene" (Tsugami Art Museum, Kumamoto, 2017). Selected group exhibition include: "Past, Present, Future—Imagining a Constellation" (Tokyo Metropolitan Art Museum, Tokyo, 2019).

水 1983年東京生まれ。2014年多摩美術大学大学院美術研究科修士課程絵画専攻修了。油彩画・版画・彫刻修了。主な個展に「なぜだ? なぜだ? なぜだ?」(ボーミュージアム・オブ・アート・オカヤマ／東京、2019)、「ARKO2017 水野里奈」(大原美術館／岡山、2017)など。主なグループ展に「Eyes & Curiosity—Flowers in the Field」(Mizuno Rina Art Museum Annex, Saitama, 2018)と「ARCO2017」(アート・エキシビション・スパイダー・ギャラリー／シンガポール、2017)、あるいは「VOCAL 2013」企画コンペティション(ARTISANビル／東京、2013)など。

Mizuno Rina [Lives and Works in Alchi]

Born in Tokyo in 1983. Mizuno Rina completed Graduate School of Fine Arts, Tama Art University, majoring in Oil Painting in 2014. Selected recent solo exhibitions include: "Without thinking, stopped" (Pola Museum Annex, Tokyo, 2019) and "ARKO 2017 Rina MIZUNO" (Ohara Museum of Art, Okayama, 2017). Selected group exhibitions include: "Eyes & Curiosity—Flowers in the Field" (Mizuno Rina Art Museum Annex, Saitama, 2018), "ARCO2017" (Tokyo Opera City Art Gallery, Tokyo, 2017) and Alchi Triennale 2013 (ARTISAN building, Alchi, 2013) as winner of the planning competition. Selected award include: "Alchi Award" for Alchi 2013.

野 1987年愛知県生まれ。2013年愛知県立美術大学大学院美術研究科博士前庭課修了。油彩画・版画彫刻修了。2015年多摩美術大学大学院美術研究科博士前庭課修了。主な個展に「組み合わせ」(See Saw gallery／名古屋、2018)、「不自由なしくじ」(Kamo Akira & Kuroki Keiji／東京、2017)、「ZENITH／アーティストの窓」(東京、2017)など。主なグループ展に「現代美術の窓屋—新しい日本の作家たち」(VOCAL 2017)など。主な個展に「東京アート・ビューロー」(東京アート・ビューロー、2016)、「絵画のとなり」(東京アート・ビューロー、2014)など。

Yokono Asuka [Lives and Works in Alchi]

Born in Alchi in 1987. Yokono Asuka completed Graduate School of Fine Arts, Tama Art University, majoring in Oil Painting and Woodcut Printing in 2013. She received The 30th HOLBEIN Scholarship in 2015. Selected recent solo exhibitions include: "Combination" (See Saw gallery, NAGOYA, 2018), "Inconvenient Sight" (Galleria PARC, OSAKA, 2017), "The Window of Contemporary Art" (ARTISAN building, Otsu, 2017). Selected group exhibitions include: "The Vision of Contemporary Art 2016" (The Ueno Royal Museum, Tokyo, 2016) and "The Way of PAINTING" (Tokyo Opera City Art Gallery, Tokyo, 2016).

1987年岐阜県生まれ。2012年多摩美術大学美術学部絵画科油絵専攻卒業。本邦初の海外研修修了。2015年第30回ホルベイン賞受賞としてミュンスター芸術大学(ドイツ)クラウス・マルクス教授に認定。主な個展に「on the way」(ミュンスター芸術大学／ドイツ)、「ミュンスター2018」(Gallerie PARC／京都、2018)、「グレーブ派」(広くて深かで謎めく場所)「フォーラム・アート・ギャラリー・オカヤマ」(東京、2018)、「素晴らしい人々」(アキバマジック／東京、2017)など。主な個展に「東京アート・ビューロー」(東京アート・ビューロー、2016)、「絵画のとなり」(東京アート・ビューロー、2014)など。

Matsumoto Naoko [Lives and Works in Saitama]

Born in Tochigi in 1985. Matsumoto Naoko graduated from Tama Zokei University, majoring in Oil Painting in 2012. She completed her overseas study at the University of Fine Arts, Münster, Germany, 2017-2018, with the grant for "the Program of Overseas Study for Upcoming Artists" awarded by the Agency for Cultural Affairs of the Japanese government. Recent recent exhibitions include: "on the way" (Gallerie PARC, Kyoto, 2017), "GUTIC STUDY1" (Gallerie PARC, Kyoto, 2017), "quiet place. A stimulating place." (Forum Art Shop Gallery, Tokyo, 2015) and "Wonderful People" (Akibatamabishi, Tokyo, 2014). Awards won: Fukuzawa Prize (2012) and Tokyo Wonder Wall Award (2013).

山 1972年大阪府生まれ。1995年東京藝術大学大学院美術研究科修士課程絵画専攻卒業。2017-2018年文化庁新進芸術家海外研修員としてミュンスター芸術大学(ドイツ)クラウス・マルクス教授に認定。主な個展に「on the way」(ミュンスター芸術大学／ドイツ)、「ミュンスター2018」(Gallerie PARC／京都、2017)、「GUTIC STUDY1」(ギャラリー・ハシモト／東京、2017)など。主なグループ展に「アートブローフーム青梅」(BOX KI-O-KU／東京、2012)、「Mirage」(同志社大学／京都、2009)など。

Yamaoka Toshiaki [Lives and Works in Osaka]

Born in Osaka in 1972. Yamaoka Toshiaki graduated from Tokyo Zokei University in 1995. He temporarily named his aggregation of forms, "GUTIC STUDY1," after a kind of suggestion structure. "GUTIC STUDY1" continues to actively search for such forms as "the possibility that may have existed" in the real world. Selected recent solo exhibitions include: "GUTIC STUDY1" (STREET GUTIC STUDIO / STREET GALLERY / Kyoto, 2019), "GUTIC STUDY1" (Galleria PARC / Kyoto, 2017), "GUTIC STUDY1" (STREET GUTIC STUDIO / STREET GALLERY / Kyoto, 2017), "GUTIC STUDY1" (Galleria PARC / Kyoto, 2017), "GUTIC STUDY1" (Galleria PARC / Kyoto, 2017), "GUTIC STUDY1" (Galleria PARC / Kyoto, 2017). Selected group exhibitions include: "10th ART PROGRAM OMÉ" (BOX KI-O-KU, Tokyo, 2012) and "Mirage" (Doshisha University, Kyoto, 2009).

## 関連イベント

### アーティストトーク#1

10月13日[日]

13:00-14:00 水野里奈 / 14:10-15:10 横野明日香 / 15:20-16:20 山岡敏明  
会場 3階アトリエ / 定員 80名程度  
※参加無料、要事前申込(先着順) ※保育あり

### アーティストトーク#2

10月19日[土]

13:00-14:00 加茂昂 / 14:10-15:10 松本奈央子  
会場 3階アトリエ / 定員 80名程度  
※参加無料、要事前申込(先着順) ※保育あり

### アートなピクニック

#### —視覚に障がいがある人とない人が共に楽しむ鑑賞会

スタッフや参加者同士の会話を通して展示作品を楽しみながら鑑賞するツアーです。障がいの有無にかかわらず、どなたでもご参加いただけます。

10月26日[土]14:00-16:00

会場 展示室1・2 / 定員 10名 / 締切 10月19日[土]

※参加無料、要事前申込(応募者多数の場合抽選) ※最寄のあざみ野駅までお迎えが必要な方は申込時にご相談ください。※保育あり

### 学芸員によるギャラリートーク

10月20日[日] 14:00-14:30

会場 展示室1・2

※参加無料、申込不要

## 【イベントのお申込方法】

「ホームページの申込みフォーム」「直接来館(アートフォーラムあざみ野2階事務室)」のいずれかでお申込みください。

- 複数のプログラムに参加ご希望の方は、お手数ですが別々にお申込みください。
- 視覚に障がいがある方で、上記の方法でのお申込みが難しい場合はご相談ください。
- 提供された個人情報は今回の事業実施のためだけに使用し、その他の目的で使用することはありません。

## 【保育について】

「保育あり」のプログラムにご参加の方は、プログラム時間中に主催事業保育料金にて1階の保育室(予約制、対象年齢:1歳6ヶ月~未就学児)をご利用いただけます。詳細はアートフォーラムあざみ野「子どもの部屋」(Tel. 045-910-5724)までお問合せください。

※2ヶ月~1歳5ヶ月児の保育についてはご相談ください。

## お問合せ

横浜市民ギャラリーあざみ野[公益財団法人横浜市芸術文化振興財団]  
〒225-0012 横浜市青葉区あざみ野南1-17-3 アートフォーラムあざみ野 内  
Tel. 045-910-5656 Fax. 045-910-5674

Yokohama Civic Art Gallery Azamino [Yokohama Arts Foundation]  
1-17-3 Azamino-Minami, Aoba-ku, Yokohama, Kanagawa, JAPAN 225-0012  
Tel. +81-45-910-5656 Fax. +81-45-910-5674

<http://artazamino.jp/>  
E-mail: [info@artazamino.jp](mailto:info@artazamino.jp)  
twitter: @artazamino

## 交通案内

- 東急田園都市線「あざみ野駅」東口 徒歩5分
- 横浜市営地下鉄「あざみ野駅」1・2番出口 徒歩5分
- Azamino Station(Tokyu Den-en-toshi Line): 5-minute walk from the East Exit.
- Azamino Station(Yokohama Municipal Subway): 5-minute walk from Exit 1 or 2.

駐車場:27台(有料・予約制) Tel. 045-914-5910

Parking Reservation: +81-45-914-5910

※詳細な地図や設備はこちらから <http://artazamino.jp/barrierfree>

